

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2020年7月22日から無期限です。	
運用方針	「CPR Invest - エデュケーション」への投資を通じて、主に世界の教育関連事業を行う企業の株式に実質的に投資し、投資信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。また、「CAマナープールのファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行います。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。	
主要運用対象	アムンディDCファンド世界株式・次世代教育関連	CPR Invest - エデュケーション CAマナープールのファンド (適格機関投資家専用)
	CPR Invest - エデュケーション	世界の株式等
組入制限	CAマナープールのファンド（適格機関投資家専用）	本邦通貨表示の短期公社債
	株式への直接投資は行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。	
分配方針	毎決算時（年2回決算、原則として毎年3月と9月の各18日。ただし、休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないことがあります。留保益の運用については特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

アムンディDCファンド 世界株式・次世代教育関連

運用報告書（全体版）

第1期（決算日 2021年3月18日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに期中の運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくご願い申し上げます。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号
 お客様サポートライン：0120-202-900(2021年6月30日まで)
 03-3593-5911※(2021年7月1日から)
 ※通話料は有料です
 受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
 ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp/>

■設定以来の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税金 分	み 配 金	期 騰 落	中 率	投 資 組	信 託 証 比	投 資 証 比	券 率	純資産総額
(設定日) 2020年7月22日	10,000		—	—	—		—	—	—	1
1期(2021年3月18日)	11,904		0	19.0		0.0		97.4		22

(注1) 設定日の基準価額は設定時の価額(10,000円)、純資産総額は設定元本を表示しています。

(注2) 当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

■当期中の基準価額等の推移

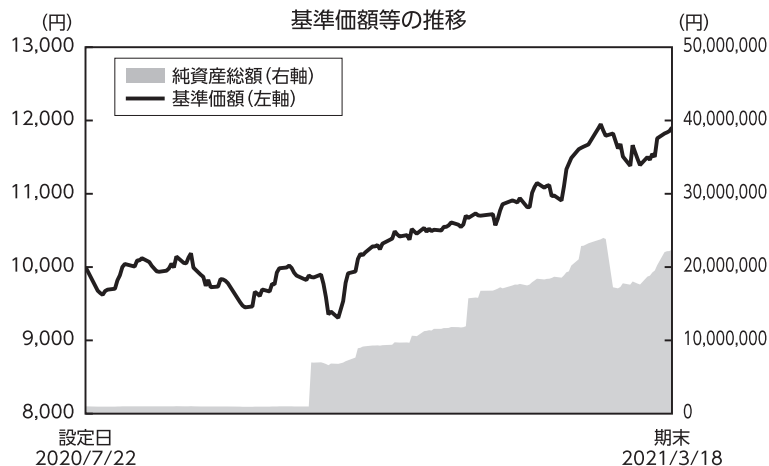
年月日	基準価額	騰 落 率	投 資 組	信 託 証 比	投 資 証 比	券 率
(設定日) 2020年7月22日	10,000	—		—	—	—
7月末	9,693	△ 3.1			0.5	94.8
8月末	10,057	0.6			0.5	95.0
9月末	9,637	△ 3.6			0.5	94.9
10月末	9,393	△ 6.1			0.1	87.6
11月末	10,436	4.4			0.1	97.6
12月末	10,702	7.0			0.0	92.3
2021年1月末	10,976	9.8			0.0	94.0
2月末	11,508	15.1			0.0	91.3
(期末) 2021年3月18日	11,904	19.0			0.0	97.4

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額(10,000円)です。

(注2) 騰落率は設定日比です。

【基準価額等の推移】

設定日	10,000円
第1期末	11,904円
既払分配金 (税込み)	0円
騰落率	19.0%



【基準価額の主な変動要因】

上昇要因

- ① 2020年11月に米国の大統領選挙が終了したことや、新型コロナウイルスのワクチン開発進展を受けて先行きの不透明感が薄れ、株式市場が全体として大きく上昇したこと
- ② 12月以降も新型コロナウイルスのワクチン接種の開始を受けた経済活動再開や大型経済対策への期待でグローバル株式市場が高値を更新する展開が当期末近くまで続いたこと
- ③ 特に2021年2月前半は、キャリア開発・就職支援、教育関連用品・サービス、エドテック（教育テクノロジー）などの教育関連銘柄が堅調だったこと
- ④ 2020年11月半ばから円安傾向となったこと

下落要因

- ① 設定当初から10月末にかけて、新型コロナウイルスの感染再拡大や株式の割高感などを懸念した短期的な株価調整局面があったこと
- ② 2021年2月中旬以降、中国やブラジルの組入銘柄が大きく下落したこと

【投資環境】**＜世界株式市場＞**

当期のグローバル株式市場は上昇しました。2020年3月末からの急反発の反動に加え、収束の兆しをみせない新型コロナウイルス感染や米国の大統領選挙を控えた不透明感から、不安定な動きが11月初めまで続きました。11月に入ると株価は反発に転じ、米国の大統領選挙が終了したことや、有効な新型コロナウイルスのワクチン開発の成功で先行きの不透明感が薄れたことなどから株価は押し上げられました。12月以降も、米国の追加経済対策や、新型コロナウイルスのワクチン接種の開始、英国とEU（欧州連合）間の通商協議の合意などを材料に株価の高値更新が続きました。年明け後は、景気回復期待が一段と強まって長期金利の上昇が顕著となるなか、2月半ば以降は成長株や新興国株式が反落した一方、割安な景気敏感株が続伸するなど、物色対象に変化はあったものの、グローバル株式市場は高値圏で当期末を迎えました。セクター別にみると、金利上昇が恩恵となる金融、原油価格の上昇が恩恵となるエネルギー、景気感応度の高い資本財・サービス、一般消費財・サービスなどのセクターの上昇が大ききものとなった一方、生活必需品、公益事業、ヘルスケアは小幅上昇にとどまりました。

＜為替市場＞

当期の為替市場は海外の新型コロナウイルスの感染状況などが懸念され、緩やかな円高傾向が2020年11月初めまで続きました。11月以降は、新型コロナウイルスのワクチン接種開始による経済活動再開への期待に加え、英国とEUの通商協議の合意、原油価格の上昇などで欧州通貨や資源国通貨が上昇、米ドル/円相場も2021年1月以降反発しました。

＜日本短期国債市場＞

当期の短期国債市場では、日銀によるマイナス金利政策のもと、TDB（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りは-0.09%前後の低い水準で始まりました。2020年9月末には、年末越えの担保需要や海外勢の買い需要から、利回りは低下しました。その後、海外勢の買い需要が後退したことから、利回りは再び上昇に転じ、-0.11%前後の水準で当期末を迎えました。

【ポートフォリオ】**＜当ファンド＞**

当ファンドは、主に世界の教育関連事業を行う企業の株式へ投資する「CPR Invest - エデュケーション」に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行いました。「CPR Invest - エデュケーション」の組入比率は、高位を維持しました。また、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資を行いました。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

<CPR Invest - エデュケーション>

当ファンドは、幼児から社会人までのあらゆる教育関連事業をビジネスの柱とし、ESG^{*}評価の高い企業のなかからバリュエーションと業績見通しの優れた70前後の銘柄で構成される株式ポートフォリオ運用を行いました。期中、新しい投資アイデアやバリュエーション、業績見通しの変化に応じて銘柄入替えや比率変更を行いました。当ファンド独自の7つのセクター区分では、景気感応度の高いキャリア開発・就職支援、出版・コンテンツ、教育関連用品・サービスへの配分を2020年11月以降引き上げました。エドテック（教育テクノロジー）は期中若干減らしたものの高い比率を維持しました。大学等、高等教育と、保育、幼児教育～中等教育、教育関連リートについては比率を引き下げました。

※ ESGは環境（Environment）、社会（Social）、ガバナンス（Governance）の頭文字を取ったもので、企業の持続的な成長性を判断するための評価軸です。

（CPRアセットマネジメント）

<CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）>

当期、主として12ヵ月以内に償還を迎える地方債への投資により、安定した収益の確保を目指して運用を行いました。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

【分配金】

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます（分配原資の内訳につきましては、後記の「分配金のお知らせ」をご覧ください）。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

【今後の運用方針】

<当ファンド>

当ファンドが主要投資対象とする「CPR Invest - エデュケーション」の組入比率を引き続き高位に保ちます。また、「CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）」にも投資します。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

<CPR Invest - エデュケーション>

新型コロナウイルスのワクチン接種の進展と、米国の未曾有の景気刺激策が支えとなっていますが、長期金利の上昇傾向は景気が「正常化」しつつあることを反映しており、景気回復を織り込む株価動向は当面続く可能性があると思われます。教育関連ユニバースに含まれるセクターの多くにとっても2021年は回復の年になるとみられます。対面教育を行う企業や教育関連用品・サービス銘柄の株価は回復傾向ですが、新型コロナウイルス流行前の水準を依然として下回っている銘柄も多く、上昇余地は大きいとみています。ポートフォリオでは長期的な成長ポテンシャルの大きいエドテック（教育テクノロジー）の高い組入れを維持し、景気感応度の高いセクターや銘柄についても徐々に組入比率を引き上げる方針です。

（CPRアセットマネジメント）

<CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）>

安全性重視の観点から、12ヵ月以内に償還を迎える債券への投資により安定的な運用を行います。

（アムンディ・ジャパン株式会社）

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第 1 期 (2020年7月22日 ～2021年3月18日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	33円 (9) (22) (1)	0.318% (0.087) (0.217) (0.014)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (監 査 費 用)	1 (1)	0.007 (0.007)	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	34	0.325	

期中の平均基準価額は10,300円です。

(注1) 費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

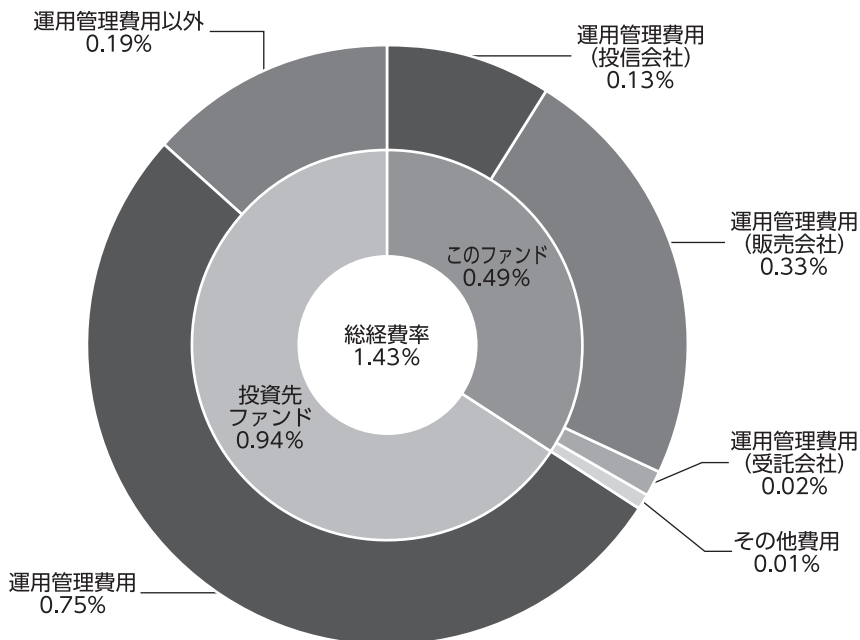
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

●総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.43%です。



総経費率 (①+②+③)	1.43%
①このファンドの費用の比率	0.49%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.75%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.19%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

■売買及び取引の状況（2020年7月22日から2021年3月18日まで）

投資信託受益証券、投資証券

		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)	千口 5	千円 5	千口 -	千円 -
外国	(ルクセンブルク) CPR Invest - エデュケーション	千口 1	千ユーロ 198	千口 0.430	千ユーロ 49

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。ただし、口数が単位未満の場合は小数で記載しています。

■利害関係人との取引状況等（2020年7月22日から2021年3月18日まで）

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■自社による当ファンドの設定・解約状況（2020年7月22日から2021年3月18日まで）

当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 1	百万円 -	百万円 1	当初設定時又は当初運用時における取得等

■組入資産の明細 (2021年3月18日現在)

(1) 国内(邦貨建)投資信託受益証券

銘柄	口数	当期末	
		口数	評価額
CAマネープールファンド(適格機関投資家専用)	5	千口	千円
合計	5	5	5
	銘柄数 < 比率 >	1	< 0.0% >

(注1) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率です。以下同じ。

(注2) 評価額の単位未満は切捨てです。以下同じ。

(2) 外国(外貨建)投資証券

銘柄	口数	当期末	
		評価額	
		外貨建金額	邦貨換算金額
(ルクセンブルク) CPR Invest - エデュケーション	1	千ユーロ	千円
合計	1	167	21,824
	銘柄数 < 比率 >	1	< 97.4% >

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

■投資信託財産の構成 (2021年3月18日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円	%
投資証券	5	0.0
コール・ローン等、その他	21,824	97.3
投資信託財産総額	605	2.7
	22,434	100.0

(注1) 金額の単位未満は切捨てです。

(注2) 当期末における外貨建純資産(21,824千円)の投資信託財産総額(22,434千円)に対する比率は97.3%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

なお、2021年3月18日現在における邦貨換算レートは、1ユーロ=130.60円です。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年3月18日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	22,434,814円
コール・ローン等	604,894
投資信託受益証券(評価額)	5,021
投 資 証 券(評価額)	21,824,899
(B) 負 債	30,559
未 払 信 託 報 酬	29,974
未 払 利 息	1
そ の 他 未 払 費 用	584
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	22,404,255
元 本	18,821,179
次 期 繰 越 損 益 金	3,583,076
(D) 受 益 権 総 口 数	18,821,179口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,904円

(注記事項)

期首元本額	1,000,000円
期中追加設定元本額	24,159,803円
期中一部解約元本額	6,338,624円

■損益の状況

当期 (自2020年7月22日 至2021年3月18日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 321円
支 払 利 息	△ 321
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,170,569
売 買 益	2,883,163
売 買 損	△ 712,594
(C) 信 託 報 酬 等	△ 30,558
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	2,139,690
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	1,443,386
(配 当 等 相 当 額)	(△ 452)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,443,838)
(F) 計 (D+E)	3,583,076
(G) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(F+G)	3,583,076
追 加 信 託 差 損 益 金	1,443,386
(配 当 等 相 当 額)	(△ 452)
(売 買 損 益 相 当 額)	(1,443,838)
分 配 準 備 積 立 金	2,140,011
繰 越 損 益 金	△ 321

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

■分配金のお知らせ

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、見送りとさせていただきます。

収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。
また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

【分配原資の内訳】

(単位：円・1万口当たり・税込み)

項 目	第 1 期
	(2020年7月22日～2021年3月18日)
当期分配金	—
(対基準価額比率)	(—%)
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	1,903

(注1) 「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。

(注2) 「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

<1. 補足情報>

組入ファンド「CPR Invest - エデュケーション」の決算日は毎年12月末日ですが、当運用報告書作成時点において監査が終了していないため、今期における決算日の情報はありません。

つきましては、2021年3月17日現在の情報を掲載しています。

■有価証券明細（評価額上位30銘柄）（2021年3月17日現在）

(1) 株式等

	銘柄	通貨	株数	評価額（ユーロ）
ケイマン諸島	NEW ORIENTAL EDUCATION & TECH.GR ADR RE1	USD	1,472,840	20,686,198.33
	TAL EDUCAT GR -A- ADR REPR 1/3 SH -A-	USD	301,032	17,038,545.22
香港	CHINA EDUCATION GROUP HOLDINGS	HKD	10,114,000	16,626,502.64
アメリカ	SLM	USD	1,124,951	16,367,047.18
	MICROSOFT CORP	USD	77,389	15,409,541.40
	ASGN -REGISTERED SHS	USD	183,984	15,314,355.55
	CHEGG INC	USD	192,417	15,187,115.23
	MANPOWERGROUP INC	USD	166,717	14,115,171.93
	ARAMARK HOLDING CORP	USD	403,195	13,764,412.45
	NAVIENT	USD	1,196,077	13,222,204.48
カナダ	THOMSON REUTERS CORP	USD	177,438	13,085,204.77
アメリカ	2U INC	USD	400,600	12,831,179.81
オランダ	RANDSTAD BR	EUR	210,000	12,814,200.00
アメリカ	AMERICAN CAMPUS COMMUNITIES INC	USD	333,608	12,476,146.13
イギリス	UNITE GROUP PLC	GBP	1,045,768	12,320,374.20
	COMPASS GROUP	GBP	681,158	12,235,895.49
アメリカ	WORKDAY INC -A-	USD	54,574	11,952,230.90
イギリス	INFORMA PLC	GBP	1,775,632	11,909,347.95
ケイマン諸島	CN YUHUA EDU REGS 144A	HKD	17,122,000	11,758,788.70
オランダ	WOLTERS KLUWER NV	EUR	167,473	11,746,556.22
ケイマン諸島	CN NEW HIGH	HKD	22,537,000	11,212,134.65
オーストラリア	IDP EDUCATION	AUD	681,237	11,137,089.19
アメリカ	AMN HEALTHCARE SERVICES	USD	172,283	10,984,316.60
	TEGNA	USD	655,861	10,908,520.14
日本	TECHNOPRO HOLDINGS INC	JPY	143,900	9,639,746.52
ベルギー	XIOR STUDENT HOUSING N V	EUR	198,364	9,362,780.80
日本	RECRUIT HOLDINGS CO LTD	JPY	232,400	9,355,273.90
ケイマン諸島	AFYA - REGISTERED SHS -A-	USD	515,342	9,285,636.44
アメリカ	CORNERSTONE ONDEMAND INC	USD	232,126	9,086,540.05

(2) 投資証券

	銘柄	通貨	口数	評価額（ユーロ）
フランス	CPR CASH SICAV -I- CAP	EUR	2	22,202,160.50

(注) 通貨欄の表記は以下の通りです。

USD（米ドル）、HKD（香港ドル）、EUR（ユーロ）、GBP（英ポンド）、AUD（オーストラリアドル）、JPY（円）

<2. 補足情報>

組入ファンド「C A マネープールファンド（適格機関投資家専用）」の決算日（2021年2月15日）と当ファンドの決算日が異なっていますので、2021年3月18日現在の情報を掲載しています。

■組入資産の明細（2021年3月18日現在）

公社債

(A) 債券種類別開示

国内（邦貨建）公社債

区 分	2021 年 3 月 18 日 現 在						
	額面金額	評 価 額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	100,000	100,011	13.0	—	—	—	13.0
地 方 債 証 券	400,000	400,070	51.9	—	—	—	51.9
合 計	500,000	500,081	64.9	—	—	—	64.9

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 個別銘柄開示

国内（邦貨建）公社債

種 類	銘 柄	2021 年 3 月 18 日 現 在			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償還年月日
国 債 証 券	第946回国庫短期証券	%	千円	千円	
	小 計	0	100,000	100,011	2021/4/26
地 方 債 証 券	第348回大阪府公募公債（10年）	1.32	200,000	200,078	2021/3/30
	平成28年度第2回札幌市公募公債（5年）	0.005	200,000	199,992	2021/6/18
	小 計		400,000	400,070	
合 計			500,000	500,081	

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）

運用報告書

《第14期》

決算日：2021年2月15日

（計算期間：2020年2月18日～2021年2月15日）

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。ここに、期中の運用状況についてご報告申し上げます。

■投資対象ファンドの概要

運用方針	主として本邦通貨表示の短期公社債に投資し、安定した収益の確保をめざして運用を行うとともに、あわせてコール・ローンなどで運用を行うことで流動性の確保を図ります。
主要運用対象	本邦通貨表示の短期公社債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への投資は行いません。

■最近5期の運用実績

決算期	基	準 価 額		債券組入率 比	純 資 産 額 総
		税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率		
10期（2017年2月15日）	円	円	%	%	百万円
10期（2017年2月15日）	10,067	0	△0.1	63.6	791
11期（2018年2月15日）	10,064	0	△0.0	65.3	770
12期（2019年2月15日）	10,055	0	△0.1	59.0	763
13期（2020年2月17日）	10,048	0	△0.1	61.1	788
14期（2021年2月15日）	10,042	0	△0.1	64.6	773

（注）当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。また、当ファンドと適切に対比できる参考指数はありません。以下同じ。

■ 当期中の基準価額等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 券 組 入 率
		騰	落	
(期 首) 2020年 2月17日	円 10,048	% —	% —	% 61.1
2月末	10,048	0.0		64.8
3月末	10,047	△0.0		65.2
4月末	10,047	△0.0		63.3
5月末	10,046	△0.0		63.3
6月末	10,045	△0.0		65.7
7月末	10,044	△0.0		65.9
8月末	10,044	△0.0		65.9
9月末	10,044	△0.0		65.9
10月末	10,044	△0.0		66.2
11月末	10,043	△0.0		66.3
12月末	10,043	△0.0		62.4
2021年 1月末	10,043	△0.0		60.7
(期 末) 2021年 2月15日	10,042	△0.1		64.6

(注) 騰落率は期首比です。

■ 1万口当たりの費用明細

項 目	第14期 (2020年 2月18日 ～2021年 2月15日)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	1円	0.011%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(1)	(0.009)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(0)	(0.001)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(0)	(0.002)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	1	0.005	その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（その他）	(1)	(0.005)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合 計	2	0.016	

期中の平均基準価額は10,044円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

■売買及び取引の状況 (2020年2月18日から2021年2月15日まで)

公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国内	国債証券	100,050	—
	地方債証券	402,424	—
			(480,000)

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■主要な売買銘柄 (2020年2月18日から2021年2月15日まで)

公社債

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
		千円	
第348回大阪府公募公債 (10年)	202,356	—	—
平成28年度第2回札幌市公募公債 (5年)	200,068	—	—
第946回国庫短期証券	100,050	—	—

(注1) 金額は受渡し代金です。経過利子分は含まれておりません。

(注2) 国内の現先取引によるものは含まれておりません。

■利害関係人との取引状況等 (2020年2月18日から2021年2月15日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2021年2月15日現在)

公社債

(A) 債券種類別開示

国内 (邦貨建) 公社債

区分	当			期				
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下組入比率	残存期間別組入比率			2年未満
					5年以上	2年以上	2年未満	
千円	千円	%	%	%	%	%		
国債証券	100,000	100,020	12.9	—	—	—	12.9	
地方債証券	400,000	400,296	51.7	—	—	—	51.7	
合計	500,000	500,316	64.6	—	—	—	64.6	

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(注4) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しております。

(B) 個別銘柄開示

国内 (邦貨建) 公社債

種類	銘柄	当			期		
		利率	額面金額	評価額	償還年月日		
		%	千円	千円			
国債証券	第946回国庫短期証券	—	100,000	100,020	2021/4/26		
地方債証券	第348回大阪府公募公債 (10年)	1.32	200,000	200,304	2021/3/30		
	平成28年度第2回札幌市公募公債 (5年)	0.005	200,000	199,992	2021/6/18		
合計			500,000	500,316			

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨てです。

■投資信託財産の構成 (2021年2月15日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	500,316	64.6
コール・ローン等、その他	273,736	35.4
投資信託財産総額	774,052	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨てです。

■資産、負債、元本及び基準価額の状況

2021年2月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	774,052,455円
コール・ローン等	272,736,200
公 社 債(評価額)	500,316,700
未 収 利 息	999,555
(B) 負 債	90,470
未 払 信 託 報 酬	83,910
未 払 利 息	620
そ の 他 未 払 費 用	5,940
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	773,961,985
元 本	770,688,092
次 期 繰 越 損 益 金	3,273,893
(D) 受 益 権 総 口 数	770,688,092口
1万口当たり基準価額(C/D)	10.042円

(注記事項)

期首元本額	784,360,573円
期中追加設定元本額	108,081,700円
期中一部解約元本額	121,754,181円

■損益の状況

当期 自2020年2月18日 至2021年2月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	3,478,491円
受 取 利 息	3,677,665
支 払 利 息	△ 199,174
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 3,773,002
売 買 益	164,432
売 買 損	△ 3,937,434
(C) 信 託 報 酬 等	△ 122,989
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	△ 417,500
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 1,428,984
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	5,120,377
(配 当 等 相 当 額)	(9,921,570)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 4,801,193)
(G) 計 (D+E+F)	3,273,893
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G+H)	3,273,893
追 加 信 託 差 損 益 金	5,120,377
(配 当 等 相 当 額)	(9,921,570)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 4,801,193)
分 配 準 備 積 立 金	18,658,436
繰 越 損 益 金	△20,504,920

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。